

仙台の今、未来への責任！

■発行/仙台市議会議員 野田ゆずる
〒981-3121 仙台市泉区上谷刈3丁目7-29-D103 Tel&Fax 022 (739) 9630

野田ゆずる議会レポート

令和4年第3回定例会報告

<https://www.y-noda.net>
info@y-noda.net

■ご意見・ご要望がありましたらお気軽にお寄せください。

今回の議会レポートは、令和4年第3回定例会報告です。
今定例会では、計176億 3,604 万円を増額する補正予算案2件を含む24議案を可決いたしました。主な補正は、ワクチン接種費や製品プラスチック一括回収・リサイクル事業費など。

また、来年5月に開催される G7サミット時に仙台開催が決まった、科学技術相会合の準備費用として 8,021 万円を増額補正しました。

今回のレポートは、自由民主党を代表し代表質疑に登壇した際の質問と答弁の一部を記載させていただきました。是非、一読いただき皆様の仙台市政へのご意見を頂戴したいと考えております。



▲自民党を代表し、代表質疑に登壇

令和4年第3回定例会 野田議 自由民主党代表質疑より

仙台育英学園硬式野球部の全国優勝について

質問 この夏は忘れることのできない夏となった。夏の甲子園大会において宮城県代表の仙台育英学園高等学校が並み居る強豪校を次々と破り、東北勢の悲願であった深紅の大優勝旗を、白河の関を超えて仙台へと持ち帰ってくれた。

効果的な選手の起用によって日本一に導いた監督の手腕に敬意を表するとともに、関係者の皆様に感謝を申し上げる次第で、その偉業に対して心から祝福を送りたい。市長もアルプススタンドで歓喜の瞬間に立ち会われたが、どのような思いを抱かれたのか。

答弁 歴史的な偉業を成し遂げた瞬間を目のあたりにいたしました。汗と涙とそして感動と興奮とで胸がいっぱいになり、この夏、悲願成就に湧き上がる歓喜を、多くの皆様方と分かち合うことができた事は何よりの喜びであった。

第104回全国高等学校野球選手権大会

Congratulation!!

仙台育英学園高等学校

相手チームへの敬意を忘れない立ち振る舞いと共に、データに基づく緻密な戦略や、高校生に寄り添った愛情あふれる姿は、まさにチームが掲げられていた「日本一からの招待状」を受けるにふさわしいものだと大いに感銘を受けたところだ。

職員の意識改革について

質問 本年第1回定例会でも、市政に対する信頼を確保するため職員の一層の意識改革に取り組むべきことを申し上げたが、今年度に入ってから公務内外にわたる職員の非違行為、事務処理の誤りによる事案が毎月のように発表されている。

職員の処分に至る不祥事だけではなく、基本的な事務処理でのミスが続く事は、市民の市政に対する信頼を著しく損なうことにつながる。当局には厳しく猛省を求める。これまでの事案を踏まえさらなる意識改革、事務処理の適正化に早急に取り組むべきだが認識を伺う。

答弁 市政の信頼を損なうような事案が続いて発生していることにお詫び申し上げるとともに深く反省すべきものと受け止めている。今後は一層の危機感を持ち、管理監督者を含む職員一人ひとりが、事務の基本である根拠法令等に立ち返り確認するといった公務員として業務を進める上での根本となる意識を、今一度組織全体に浸透させるよう鋭意取り組んでいく。

今後の観光振興について

質問 大変厳しい経営状況に置かれている宿泊事業者をはじめ、観光に携わる事業者への下支えを行いながら、感染対策と社会経済活動の両立を図っていく取り組みがますます重要となってくる。

大きく落ち込んだ交流人口の回復・拡大は、アフターコロナの経済再生にとって不可欠であり、戦略性を持った取り組みが求められる。今回の補正予算も含めインバウンドや国内旅行客の獲得など観光振興にどう取り組んでいくのか伺う。

答弁 十分な感染防止対策を講じながら、集客力のある祭りやイベント等を開催するとともに、本市独自の宿泊促進キャンペーンなどにより旅行需要喚起のテコ入れを図っていく。

国内では福岡、大阪、海外ではタイ、台湾の現地セールスを展開するほか、仙台空港の国際線再開に向けたチャーター便の運行も支援していく。

今後の東北連携のあり方について

質問 少子高齢化による人口減少という課題に直面する東北地方が、将来にわたって活力ある地域として存在感を高めていくためには、東北の中核都市としての本市の役割がますます大きくなる。

今後の東北連携のあり方について市長の考えを伺う。

答弁 成長に向け本市の持てる強み、あるいは最新の技術を生かした先駆的なチャレンジにより、東北全体の活力の創出につなげていくことが必要と考えている。

新たに、仙台と山形の豊富な観光資源を組み合わせた取り組みを進め、今後はデジタル化技術を活用した東北大学との高度な機能集積を生かした企業の育成支援など経済分野においても東北の皆様と連携した取り組みを強化していく考えだ。

音楽ホールと震災メモリアル拠点の複合化について

質問 この複合施設は杜の都を象徴する青葉山エリアの魅力さをさらに高め、世界に向けて本市の都市個性を発信できるとともに、地域経済の活性化にも資する施設としていくべきと考える。改めて青葉山エリアに2つの施設を復号化させ整備しようという



市長の思いや考え方について伺う。

答弁 本市が磨き上げてきた都市個性を掛け合わせ、より豊かな文化や交流を生み、地域経済の活性化にも寄与する新たな文化創造発信拠点を作り上げていきたいと強く思いを抱いている。

国内外から多くの人々を惹きつけ、市民の皆様方が誇りに思う仙台を象徴する施設となることを目指し、具現化に向けた検討を鋭意進めていく考えだ。

地下鉄沿線におけるまちづくりの推進について

質問 南北線は開通から35年を迎え、沿線の市街地は成熟してきているが、改めて「南北線沿線まちづくりプラン」を策定する狙いや今後の進め方を伺う。

答弁 鉄道を基軸とした十字の都市軸への機能集約を図ることとしており、南北線沿線でも既成市街地の機能強化や新たな賑わい創出を図ることが重要と考え、今年度末の策定を目指し進めている。

質問 東西線開通以降、東西線、南北線とも沿線の人口が増加するなどこれまでの取り組みの成果が見受けられるが、人口減少やライフスタイルの変化等の環境変化が想定される中、集約型のまちづくりは大変重要だ。今後、本市の都市軸において将来どんな「まち」の姿を目指し沿線まちづくりに取り組んでいくのか。

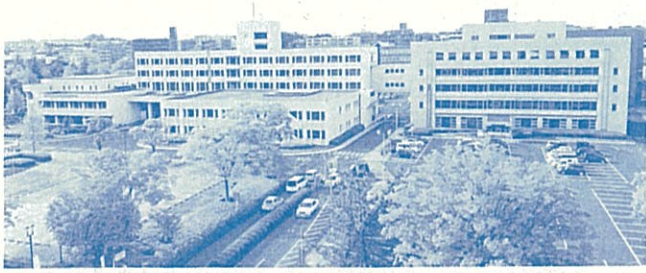
答弁 地下鉄の沿線地域は本市の新たな個性、活力を生み出す発展軸であり、地域間の交流・連携したまちづくりを進め、「働く場所」「暮らす場所」「学び・楽しむ場所」となる「まち」を目指していくことが重要であると考えている。

それぞれの場所としての質を高めることにより新たな魅力や価値を連鎖的に作り出すことができるよう、地域の皆様と連携を図りながら取り組んでいく。

泉区役所の建て替えについて

質問 民間活力を活用した建て替えを目指し、本年2月には事業者決定の報告があったが、正直申し上げていささか物足りないと言わざるをえず、どう検討を進めてきたのか、現在までの状況と今後の予定について伺う。

答弁 事業者からの提案内容を精査するとともに、区役所の建て替えと合わせて泉中央地区における課題の改善を進めるべく、交通、広場、庁舎の3つの分野をテーマとする部会において検討を進めており、基本計画の策定に向け取り組んでいる。



質問 この件におけるポイントは大きく2つ。1つはエリアの交通問題、もう一つは地域全体の活性化、賑わいづくりだ。

泉区役所の建て替えはこうした区役所周辺の交通問題を解決する絶好のチャンスだと考えるが、これらの課題に対しどう対応していこうと考えているのか。

答弁 課題に対し送迎のための一般車駐車場や企業バス等の乗降場の敷地内への設置等について提案されている。加えて既存のキスアンドライドスペースの効率的な運用や、現行のバスターミナル機能の一部を建て替えに合わせ確保するところも念頭に置き関係者等と検討を進めている。

質問 「南の長町に比べて泉中央は元気がない」と言う声を最近よく耳にする。決定した事業者の提案には賑わい創出に一工夫が必要との指摘もあり、提案内容のブラッシュアップをはかりながら、どう賑わいづくりにつなげていくのか伺う。

答弁 区役所庁舎から七北田公園までの賑わい軸を中心に、賑わいを生み出す商業・文化・スポーツなどの地域資源を生かすために連携を図りながら賑わいづくりに取り組んでいきたい。

新型コロナウイルスワクチン接種について

質問 第7波が続く中、基本的な感染対策と合わせワクチン接種の促進が重要だ。4回目接種への対応状況について伺う。

答弁 9月7日時点で本市民のうち25万人を超える方が接種を終えており、重症化の防止に一定の効果があつたと考えている。

質問 新たなワクチンについて、開始当初から十分なワクチン供給がなされるのか等の不安もあるが、現時点での本市の考え方や準備状況について伺う。

答弁 新しいワクチンは、感染予防効果や発症予防効果も期待されており感染の抑制に寄与するものと考えている。

初回接種を完了した12歳以上の全ての方を想定して準備する。ワクチンの供給に関する情報の把握に努めながら接種体制等の準備を鋭意進めているところだ。

4 病院の再編について

質問 県が突然打ち出してから既に1年が経過した。市内の大きな2病院が市外に移転してしまうかもしれない重大な問題であるにもかかわらず、県は依然として具体的な意見や疑問に対し充分応えようとなし。県の進め方に対し、市長はどう対応し、どうしようと考えているのか。

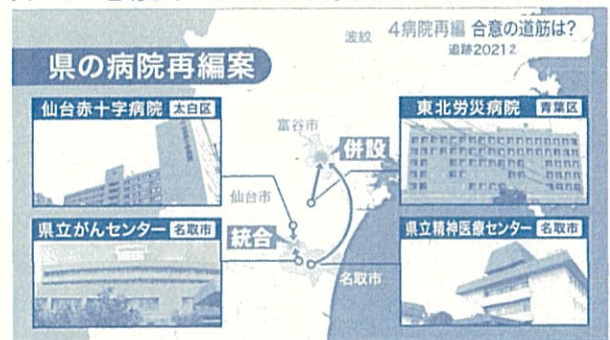
答弁 水面下で進められ、合意となると十分な説明がされないまま市内の2つの病院が市外に移転する事態になってしまうことを大変憂慮している。

この再編案の差し迫って重要と考える諸課題を提示すべく急ぎ準備を進めている。

質問 県は富谷市・名取市に整備されることで本市への搬送が減少し、市内の医療機関における救急受け入れ能力に余力が生じる」と説明している。

本当に県の説明通り緊急受け入れ能力に余力が生じ本市の緊急医療体制にその効果が見込めるのか当局の認識を伺う。

答弁 新病院移転候補地の位置的要素と、令和2年の搬送実績を基に試算すると、名取市は遠方であること、また富谷市の候補地は泉区北東部からの搬送に限られると考えられ、本市からの搬送は限定的になるものと予想される。県の「余力が生じる」とした見解とは逆に本市の救急受け入れが増加するものと見込まれている。



中央卸売市場の再整備について

質問 市場関係者も現地建て替えを望む声が大きく、私としても現地建て替えが最も妥当だと考えるが、再整備の方針、今後の進め方について伺う。また今後どんな市場を目指すのか市長の思いを伺う。

答弁 今後基本構想の策定に着手し整備手法やスケジュール等について関係者と十分に協議を行いながら検討を進めていく。

卸売市場は生産者と消費者等をつなぐ重要なインフラであると認識しており、時代の変化に伴うニーズに対応すべく、生産者や小売業者の皆様方に選ばれ活気あふれる市場となるよう取り組んでいく。

財政運営と今後の見通しについて

質問 決算年度の財政運営について伺う。先行きが不確実な社会経済情勢の中において、決して楽観視できるものではない。財政状況への認識と今後の見通し。

答弁 この度作成した財政見通しにおいて今後10年間で3,600億円程度の財源不足が生じる見込みとなり、本市財政は引き続き厳しい状況にある。

本市の将来を見据え重要施策を着実に前に進めていくためにも、国費等の財源獲得はもとより税源涵養のための経済施策、事務事業の見直しの徹底など、持続可能な財政基盤の確立を図っていきたい。

質問 これから来年度予算編成に着手される時期であるが、市税収入の見通しと確保について、合わせて市税収納率向上にどう取り組まれるのか伺う。

答弁 令和4年度は法人市民税が減となる一方で、感染症の影響を受けた中小事業者への軽減措置の終了により固定資産税が増となることにより、令和3年度決算と比べ約35億円の増収を見込んでいる。

収納率は現年度分の年度内完納に重点を置いた徴収対策を講じることで、収納率の向上に努め、市税収入の安定的な確保に取り組んでいく。

令和3年度決算について

質問 長期化する感染症の影響による交通事業は厳しい経営状況が続いている。2年間の累計では減収額が100億円を超えようという状況に衝撃を受けている。

これまでも経営は常に厳しさを伴っていたものと考えているが、これほどの状況は類を見ないのではないかと。交通事業管理者として今回の決算状況をどう捉えているのか伺う。

答弁 乗車料収入が大幅に減少し、令和元年度と比べて市バスは約79%、地下鉄は約80%となったところであり、現在も回復は鈍い状況で、経営は極めて厳しい。

質問 感染症の影響に加え燃料費の高騰等もあり、経営環境が好転するという兆しは見えない。持続可能な経営基盤の確保に向けた今後の取り組みについて交通事業管理者の考えを伺う。

答弁 利用状況に応じたバスの便数調整や、地下鉄の運行感覚の見直しなど収支改善に向けたさらなる取り組みが必要であると認識している。

一年間の総括と今後の決意について

質問 市長におかれては任期2年目を迎えられる。一年間の市政運営の総括と今後の市政の懸案や、新規プロジェクトを軌道に乗せていく市長の決意を伺う。

答弁 本市の未来を見据えた重要なプロジェクトが動き出した今、本市の市政を担う者としての覚悟を持ってこれらを強力に推し進め、議会の皆様方の引き続きのご支援とご理解を賜りながら109万市民の笑顔があふれる街の実現に向けて取り組んでいく。

その他の質疑項目

- 全国都市緑化仙台フェア
● 行政デジタル化への取り組み
● 新型コロナウイルス感染症への対応
● 製品プラスチック一括回収・リサイクル
● ガス事業民営化
● 職員の定年引き上げ
など、多岐にわたり質疑を行いました。

声をお聞かせください

仙台市や地域に思う事または、行政や国に対して思う事など皆様のお考えをお聞かせください。下記のハガキにお書きいただき、お近くのポストにご投函お願い致します。

郵便はがき

9 8 1 - 3 1 9 0

(受取人)
泉区上谷刈3丁目7-29
D棟103

仙台市議会議員(泉区)
野田 ゆずる 行

料金受取人払郵便

泉 局
承 認

36

差し出し有効期間

2023年
4月30日まで

切手不要

あなたの声をお聞かせくださいお聞かせください



Form with fields for name, address, phone number, and opinion. Includes a note about data usage.

皆様からご記入いただきました個人データは「野田ゆずる議会報告」等の連絡などに使用しそれ以外の使用はいたしません。